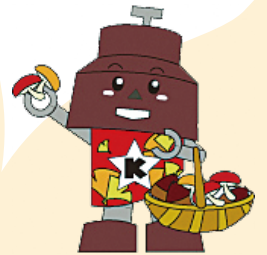


Co-Labo

コ・ラボ

川口市男女共同参画情報紙

NO.61
通巻
2019.9



特集 みんなでつくる これからの防災



Interview

認知症とともに歩む本人の会
代表

佐藤 雅彦さん

みんなでつくる これからの防災

日本では近年、東日本大震災・熊本地震・北海道胆振東部地震の被害に加え、西日本豪雨や大雪、竜巻などの災害も多く発生しています。いつ日常を一変させる災害が起きても不思議ではありません。

次に来るかもしれない災害に備えて、私たちにできることを考えてみましょう。

知っておこう！男女共同参画の視点で考える防災

避難所では、さまざまな立場の人との集団生活になります。

多様な視点があることを理解し、誰もが安心して過ごせる場にするのが大切です。

—こんな声もありました—

同性カップルで避難しようとしても、同じ区画に入りづらかった。



避難所でのトイレの利用が困難だった。



授乳室・オムツ替えスペースがなかった。



性暴力の被害が発生し、夜は怖くてトイレに行けなかった。



「男性とはこうあるべき」という固定観念に縛られ、弱音を吐けなかった。



避難所で支援物資が配布されることを知らなかった。



“防災リーダー”にチャレンジしませんか？

避難所運営などで女性への配慮不足が指摘された東日本大震災を教訓に、各地方自治体では、災害時や防災活動で地域のリーダーとなる女性を育てる動きが広がっています。多様なニーズに応えるべく、川口市でも『防災リーダー認定講習』などの取り組みがなされています。避難所運営組織に積極的に女性の意見を取り入れ、防災リーダーには男女をバランスよく配置するよう呼びかけています。講習会は年4回開催（うち1回は女性限定として開催）され、女性も多く参加されています。



※防災リーダーとは、自主防災組織が実施する避難訓練・防災訓練等の事業などへ積極的に参画するなど、自主防災組織の活性化に寄与することを目的として、市長が認定した者。

問い合わせ：川口市役所 危機管理部 防災課防災係 048-242-6357

詳細は、市ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01040/010/7/bousaievent/3004.html>

こちらからも
検索できます



これからの防災を考える上で、一つの活動や作業が男性または女性に偏らず、みんなが共同作業をしていくことが期待されています。誰もが参加しやすく、周りとの協力し楽しみながらできる防災として注目されている“アウトドア流防災”——始めてみませんか？

Try♪

“アウトドア流防災”って？

テントや寝袋などのアウトドアグッズを使って、家族や友人と一緒に自然と触れ合いながら、無理なく防災のスキルを身に付けます。アウトドアグッズは利便性に優れ、災害時にも役立ちます。また見た目もおしゃれなものが多く、アウトドアの経験をあまりしたことがない方でも気軽に始めやすいところも魅力の一つです。

防災を日常生活に楽しみながら取り入れるアウトドア流防災を提唱されている、あんどうりすさんにお話を伺いました。

Q1.アウトドア流防災を考えたきっかけをお教えてください。

- A. 阪神淡路大震災で被災した時、直下地震が起こると、最初から激震で、揺れ始めたら全く何もできないのだなと実感しました。だから、**あらかじめの耐震や家具の固定が何よりも重要**だと感じました。そして、**防災があまりにも日常から離れていると何も役に立たない事**もわかりました。阪神淡路大震災の後から、なんとなくアウトドアがいいのではないかと、**楽しみながら実践するうちに、災害にも役立つことが確信**に変わり、それをママ友にお伝えしたのが、きっかけで、この分野を発信することになりました。

Q2.防災に関して、普段から家族で話しておくべきこと、一緒にやっておくべきことはありますか？また、小さな子供がいる家庭や介護の必要な方がいる家庭での備えで、特に気をつけることはありますか？

- A. お子様がいる場合は、学校や園まで一緒に歩いて**地震で危険になる場所を親子で確認**しておきたいです。また、**火事の際には風向きと強さが重要**になります。普段から方角がわかるといいですね。星座アプリなどを使って星の方角と星の名前を知っていると災害時の避難にも役立ちます。**家庭内では、家具の固定**を。ベビーベッドなど、キャスターのついたものは2階以上のフロアではロックしていても走り回っているケースもあるので、キャスターをはずして固定することも考えてください。また、赤ちゃんや介護中の方の**だっこやおんぶも、日常から抱きかかえやすい工夫**ができていれば災害時の避難にもつながります。



あんどうりすさん より

ひとりで取り組みにくいことは仲間をつくることから始めるというのをおすすめです。災害前からの仲間づくりも「最近、防災が気になっているんだけど」という会話からすぐ始められます！



もっと知りたい！

あんどうりすさんのセミナー開催予定
日時：令和元年12月14日(土) 14:00~16:00
場所：かわぐち市民パートナーズステーション会議室



アウトドア防災ガイド
あんどうりす
阪神淡路大震災で被災後、
アウトドアの世界へ。
被災体験とアウトドアの知識を
生かし、2003年より講演活動。



認知症に対する誤解や偏見をなくしたいという思いで、講演・SNS等によって“当事者の声”を発信し続けています。

2016年1月には自身が代表を務める

「認知症とともに歩む本人の会*」を

立ち上げ、多方面で活躍されている

佐藤雅彦さんにお話を伺いました。

*川口市・蕨市・戸田市とその周辺で暮らす認知症の人たちが主体となって立ち上げた会。主な活動内容は、認知症の人同士の話し合いの場作りや、地域の人々との交流、そこから生まれた知恵や得られた情報等の発信など。
HP: <https://www.sato-masahiko.com>



認知症とともに歩む本人の会 代表

SATO MASAHIKO

佐藤 雅彦さん

◆困ったときは、さまざまな工夫を考えて解決する

初めて医師から認知症との告知を受けた14年前と比べて一番変化したのは、「これをやろう」「ここへ出かけよう」といった意欲や、何をどこに置いたかといった物を管理する能力が、減退したことです。意欲が湧かないときには無理に脳を働かせず、やりたいことや好きなことに取り組んで気持ちを上向けるように心がけています。また、不要な物を捨てて部屋をすっきり整理し、管理しやすくしています。

入居しているホームで食事はすべて提供されますが、洗濯は自分で、掃除はヘルパーさんと一緒にやっています。記憶力に関しては、まだまだ残っているけれど、それでも洗濯しているのを忘れてしまう場合もありますね。だから、アラームをセットしてその指示で動くなどの工夫によってうっかり放置しないようにするんです。洗濯以外でも、忘れても大丈夫なように記録することで心配は減り、毎日を自分なりのペースで快適に暮らしていけます。

◆自分の能力を信じて、明るく生きる

今の目標は5年後に画集を出すことです。病気の進行を遅らせるための臨床美術で、絵を描いたり写真を撮ったり染色をしたりしているからです。花が好きなので、足利フラワーパークや神代植物公園まで藤やバラなど季節の花を見に出かけます。そして、そこで見た花や景色を絵や写真に記録・表現するんです。そういう場所へは友達・知人と誘い合わせて行きますね。

ほかにもいろいろな趣味をもっています。病気になるまで音楽にはあまり興味がありませんでしたが、5年前からピアノを、最近ではオカリナを習い始めました。ピアノの発表会では「夏の思い出」を先生と連弾したんですよ。

人生は楽しまなければ損。「やれることは十分にやった」という満足感があれば、たとえいつか寝たきりになっても、私はその現実を受け止められると思います。初めからできないと諦めず、やりたいと思ったら何でも挑戦してみることにしています。

◆一緒により良い社会を作っていきたい

認知症にかかったことで確かに不便にはなったけど、私は決して不幸ではありません。病気であっても、できないことが前より増えても、自分が自分であることには何の変わりもないからです。自分一人ではできないことも、知恵を絞って工夫したり、周りの人に手助けしてもらったりすれば、乗り越えられます。

認知症と診断されてからしばらくは絶望の中にいました。でも、勇気を出して自

分の状態や想いを伝えるようになったら、同じ病気をもつ仲間や、力を貸してくれる友人がたくさんできたんです。これからも、そうした人々と力を合わせて、“認知症になっても暮らしやすい社会”をめざして行動していきたいと考えています。





旧田中家住宅



川口市末広1丁目7-2
問い合わせ：文化財センター TEL：048-222-1061

国の重要文化財に指定された魅力的なたたずまい

およそ100年前に建設されたイギリス積みレンガ造りの大正モダンな洋館と、昭和初期に増築された和館など、贅を凝らして建設された旧田中家住宅。麦味噌醸造業などで財を成した豪商「四代目田中徳兵衛」が建設した邸宅で、現在は川口市立文化財センター分館として公開されており、端午の節句や桃の節供などのイベントを行っている他、貸室も行っています。広い日本間や趣のある離れの茶室では、部屋を借りて尺八の演奏会、版画や盆栽の展示会、茶会、能の鑑賞などを行うこともできます。季節の花と錦鯉を堪能できる、池泉回遊式の日本庭園も見応えあり。ノスタルジックな雰囲気の中で、心とむひとときを過ごしてみませんか？ (小谷松)



重要文化財指定 (平成30年12月25日)
入場料金：一般200円・小中学生50円
公開時間：午前9時30～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は、その直後の平日)
年末年始 (12月29日～1月3日)



最近チャレンジしていますか？

理系の扉を開いた日本の女性たち —ゆかりの地を訪ねて

西條敏美 著 新泉社

「がんばれば報われる？」 社会の不正や理不尽と闘ったパイオニアたち

映画化が決定し、今秋9月に公開予定の「一粒の麦 荻野吟子の生涯」は、現在の熊谷市出身で日本初の女性医師・荻野吟子の生涯を描いた作品。本書では、女性の医学部進学や理系分野の礎を築いた荻野吟子を始め、男尊女卑と奮闘した科学者、医師、看護師など25名の女性を、ゆかりの地を巡って紹介しています。



461個の弁当は、親父と息子の男の約束

渡辺俊美 著 マガジンハウス

無骨な父が息子のために弁当作りに大奮闘！

息子との二人暮らしを始めたミュージシャン。高校に合格した息子の「3年間休まず通って卒業する」との言葉を受けて、料理経験ほぼゼロにもかかわらず「3年間毎日お弁当を作る」と宣言し、どんなに多忙でも体調不良でもその約束を守り続けました。お弁当を通して深まっていく親子の絆——“料理は女・母親の役割”との固定観念を覆してくれる、心温まる一冊です。



防災レシピ

***乾パンオニオングラタンスープ

防災用備蓄食料として用意したい乾パン。せっかく備えたのに消費期限切れになってしまうことも。賞味期限間近の乾パンを簡単にアレンジして、いつものメニューに取り入れてみませんか。体を芯から温めてポリューミーで栄養満点！子どもも喜ぶ素朴な美味しさです。

- 調理時間：15分
材料 (2人前)
・玉ねぎ 1/2個
・乾パン 40g
① 水 300ml
① コンソメ顆粒 小さじ1
・塩こしょう 少々
・有塩バター 10g
・ピザ用チーズ 30g
・パセリ(乾燥) 適量



作り方

1. 玉ねぎを薄切りにします。
2. 鍋を中火に熱し、有塩バターを入れて溶かし、1を炒めます。
3. 薄いきつね色になったら①を入れ、沸騰したら5分ほど煮込み、塩こしょうを加え火から下ろします。
4. 器に乾パンを入れ、3を注ぎ入れます。
5. ピザ用チーズとパセリをトッピングして完成です。

※レシピの制作・監修：クラシル (dely株式会社)
引用：日本赤十字社「防災・減災プロジェクトー私たちは忘れないー備えるごはん」
<http://jrc-tsudukeru.jp/sonaerugohan/>



講演会潜入レポート!

男女共同参画週間イベント

「メディアを読み解くチカラを見つけよう!!」に潜入せよ!



6月22日(土) 13時30分～15時30分

会場：埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま) 4階セミナー室
(さいたま市中央区新都心2-2ホテルブリランテ武蔵野4階)

主催：埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)



講師：田中 東子氏

梅雨時期の激しい雨の中、会場は来場者で席がいっぱいになりました。講演は、スクリーンに映し出されたCMについて考察し、近くの方と意見交換をするという参加型の講義でした。受講者は、周りの方々と熱心に会話をしていました。特に印象的だったのは、紙おむつCMの比較です。日本のCMでは、お母さんが朝から晩まで寝の間もなく赤ちゃんのお世話をする…“こんなに一人で頑張らなければいけないの?”一方、海外のCMでは、母親だけの個の育児ではなく、“社会みんなで育てる”…そんなメッセージを感じられました。「ジェンダーの視点をもって、情報と付き合っていくことが大切です」と語る、田中先生。女性を蔑視した広告には、キワドイ表現で“注目を浴びたい、目立たせたい”という作り手のねらいがある。しかし、人の心に刺さる広告は、そんなことをしなくても人の心に残るものだと実感しました。時には笑いを交えた2時間の講義は、あっという間の時間でした。(七星)

講師プロフィール

大妻女子大学文学部教授。博士(政治学)。早稲田大学大学院政治学研究科。博士課程満期退学。東京大学大学院情報学環客員教授。
専門は、メディア文化論、カルチュラル・スタディーズ、ジェンダー研究。

来場者の声

「内容に興味があり、吉川市から来ました。小さい子供を託児で見えていただきゆっくりとお話が聞けて助かりました」
「とても良い講演でした。我々男性も考えさせられました」



国の男女共同参画推進本部では、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。

イベントREPORT!

こんなイベント行ってきました!

編集委員レポート

就職という転機を乗り越えるセミナー

～転機をチャンスとして活かすには?～

5月13日(金) 10時30分～12時30分

会場：ハローワーク浦和・就業支援サテライト セミナー室
(さいたま市南区沼影 1-10-1 ラムザタワー 3F) 主催：埼玉県

5月13日、ハローワーク浦和・就業支援サテライト女性コーナーにて、『女性のための就活応援セミナー』が開催されました。講師は、キャリアコンサルタントで、職業訓練校での支援もされている成戸さん。参加者は10班に分かれて座ります。

「転機とは何か」「柔軟性のある仕事探し」などテーマごとにグループワークをしながら講義が進みます。参加者は女性のみということで、共感することも多く、各グループ、話が弾みます。自らの仕事経験を振り返る時間や希望する仕事について考え、書き出す時間も設けられ、新たな気づきに驚くことも。

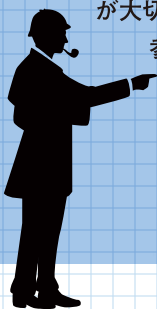
「何事も失敗は付き物です。失敗を引きずらず、できれば気にせず前に進んでいくことが大切です。この柔軟な考え方が、転機をチャンスに変えられます。」と、成戸さん。

参加者は、就職に向けて、前向きな気持ちで新たな一歩を踏み出しました。(田村)



受講者の声

「講師の方が話しやすく、楽しむことができました」
「他の人と話すことで悩んでいるのは、自分だけではないとわかって良かったです」



Kawaguchi News Report

○“約70年ぶり”労働基準法が大改正”

ご存知ですか？

2019年4月1日から働き方改革関連法が
順次施行されます



Point1 時間外労働の上限規制

残業時間の上限は、原則として月45時間、
年360時間となります。

施行 大企業：2019年4月～ 中小企業：2020年4月～



Point2 年次有給休暇の時季指定

年5日の年次有給休暇の確実な取得が必要
となります。

施行 2019年4月～



Point3 同一労働 同一賃金

正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間の不合理な
待遇差が禁止されます。

施行 2020年4月1日～

※中小企業のパートタイム労働者・有期雇用
労働者については2021年4月1日より適用

詳しくは、「働き方改革」特設サイトへ↓

www.mhlw.go.jp/hatarakikata/

働き方改革 厚労省

○～イベント紹介～

目指せワーキングマザー！仕事育児両立講座
～働きたい私のキャリア計画～

日時：2019年10月17日（木）10：00～12：00

会場：かわぐち市民パートナーズステーション会議室



小さなお子様も
一緒に受講できます！



○DVに関する相談先

川口市配偶者暴力相談支援センター

窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です

☎ 048-299-8162

女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

その他の相談先

川口市役所 市民相談室 ※法律相談、ファミリー相談等(予約制)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	☎048-258-1110
最寄りの警察署(生活安全課)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	川口警察署 ☎048-253-0110 武南警察署 ☎048-286-0110

緊急の時は110番！

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDV
といいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- 何を言っても無視する
- 交友関係を制限する
- 避妊に協力しない
- 性行為を強要する
- 生活費を渡さない
- 暴言を吐く

☑(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。
一人で悩まずに、まずはご相談ください。

男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>



市役所からのお知らせ



川口市「みんなが主役～家族の育児～」 フォトコンテスト 作品募集中!

◎「パパにまかせて!」「さすがママ!」「パパとママで頑張ります!」「ジジジ、バアバも育児を楽しんでいます!」「仕事も育児も頑張るよ!」「こんなこともやっています」などなど、育児の楽しさが伝わってくる写真をお待ちしております。



平成30年度
優秀賞
「おとうちゃん、だ〜い好キック?!」



平成30年度
市長賞
「じいおきかえ手伝って!」



平成30年度
COLORFULふえすた実行委員長賞
「ひまわりに負けない笑顔」



受賞の方には、
作品をカレンダーにして
お渡しします♪

※平成30年度 川口市「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテスト受賞作品の一部です。

募集要項

育児を楽しみながら
行っていることがわかる写真

※必ず被写体の了承を得てから作品を応募してください。

■応募資格

川口市に在住または在勤で育児に参加している「パパ、ママ、ジジジ、バアバ」

★子どもの年齢は応募日現在0歳～未就学児まで

★写真は1年以内に撮影したもの

■応募方法

応募用紙に、2L判サイズ(127mm×178mm)の写真を添えて、協働推進課 男女共同参画係まで郵送または直接持参。

応募用紙は、男女共同参画コーナーで配布。市ホームページからダウンロードも可。

■応募締切

令和元年11月8日(金) 必着

■発表

令和2年2月8日(土)

フレンドシアで開催する「COLORFULふえすた～男女共同参画イベント～」で応募作品の展示と受賞作品の表彰を行います。

※入賞作品については、市内施設等で掲示することがあります。また、受賞作品は市ホームページ、情報紙等に掲載します。あらかじめご了承ください。

事務局

川口市 市民生活部
協働推進課

〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュボ・ラ本館棟M4階
TEL 048 (227) 7605 FAX 048 (226) 7718

編集後記

市民編集委員

内田 優・小谷松裕子
関 佳子・田村あい子
七星朋子 ※五十音順

◆防災時だけに限らず、これからは一部の誰かに任せるのではなく、自分を含む皆が参加して、皆で協力しながら作り上げていくことが重要だと感じました。(内田) ◆私たちは「VUCA(予測不能な状態)」時代を迎えます。「これはおかしい」「これは違う」感覚を大切に、判断する勇気を持ちたいと思います。(小谷松) ◆佐藤雅彦さんにお会いし、改めて“誰もが自分らしく暮らせる社会を作るためには、当事者が勇気をもって伝えることが重要”と実感しました。(関) ◆防災は特別なことだと思っていましたが、日常生活にこんなにも取り入れられるとわかり、驚いています。早速、我が家にも取り入れてみよう、ヘッドランプを購入!家族で防災について話すきっかけになりました。(田村) ◆9/1は防災の日、キャンプで使うアウトドアグッズを少し見返してみようかと思いました!(七星)